
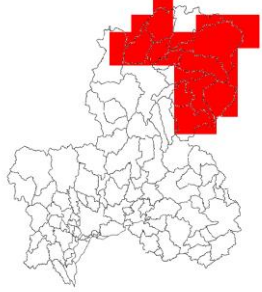


サンリンソウ	<i>Anemone stolonifera</i> Maxim.	絶滅危惧Ⅱ類
		キンポウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	写真(高橋弘)
形態の特徴	匍匐枝を出して殖え、群生する多年草。太短い根茎がある。根生葉は3出複葉。花茎は高さ15-30cmで、茎葉は3枚が輪生する。花期は6-7月。径約1.5cmの白色花を1-4個つける。	
生態的特徴	林縁や林床に生える。	
分布状況	本州中部以北、北海道、朝鮮、中国(東北)の温帯上部～亜寒帯に分布し、台湾の山地に隔離分布している。県内では県北の北部及び東部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県北の北部及び東部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良